



ブルーダルは神奈フィルの応援マスコットです。

プレリュード[No.006]

プレリュード—神奈川フィル未来への前奏曲

PAGE 1

2013年12月18日発行
発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局
発行人・編集人=大石修治
231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階
電話 045-226-5045

Prelude

2013
12|18 水

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2013

来年4月から常任指揮者に就任されますが、まず就任が決まったときの気持ちをお聞かせください。

「すいぶん飛び級をしたな。」というのが率直な感想です。今年4月の音楽堂で、久しぶりに共演させていただきとても楽しかったので、僕自身もぜひまた一緒に…と思っていました。そのあと事務局からお話をあると言われまして。最初、怒られるか、ほめられるとしても定期演奏会に呼んでいただけるくらいかと思いました。だから本当に驚いて「僕でいいんですか?」と。同時に大変嬉しかったですね。不安半分、嬉しさ半分という気持ちでした。

神奈川フィルとしても楽団員の反応がとてもよかつたし、まさに運命的な出会いでした。常任指揮者として、今後どのような活動をしていきたいですか?

常任指揮者という「楽団の顔」として、いろいろな活動を考えています。日頃あまり音楽を聞く機会がない人のためのコンサートなどにも積極的に出て行つて、興味を持ってもらえるよう努力したいです。

神奈川フィルと共に演奏されたのは過去2回ですが、そのときの感想はいかがですか?

1回目は2007年3月の東京国際音楽コンクール入賞者デビューコンサートでしたが、正直印象はほとんど残っていないんです。普通、コンクール1位、2位、3位の人が指揮を振るのですが、僕が参加したときは1位、3位の該当者がなく、2位の僕ひとりが振ることになりました。アマチュアオーケストラも数回しか振ったことのない僕が、2日の練習だけでプロのオーケストラを振る。「ペーパードライバー」が、急に「路上」に出される。それは一生懸命やりました、という印象しかありません。今年4月に6年ぶりに共演して、大変緊張しましたがとても楽しかった。皆さんとにかく音楽をやることに一生懸命ですから。音に関しても、純粹な弦楽器の音の素晴らしさはもちろん、引き出しの多さにびっくりしました。

神奈川フィルは年間の3分の1くらいが子ども向けのコンサートです。今後子どもに対してどのような取り組みをしたいですか?

子どもにとっては「面白い」「面白くない」しかないと。だからいい意味で手をぬけない。それが

神奈川フィルの一員として、新しい未来を共に切り拓いていきたい。

インタビュー
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
次期常任指揮者
川瀬賢太郎

怖くもあり楽しみでもありますね。僕が音楽に興味を持ったのは、まだ音楽を学校で学ぶ前でした。父はマーラー協会に入るほどのクラシック好きで、家にはいつも音楽が流れていました。小さい僕もジャンルなどわからないまま、音楽にあわせて体を動かし口ずさんでいました。オーケストラの印象も、たとえばモーツアルトとかベートーヴェンを聴いたというより「生の音楽ってお腹のあたりにズーンとくるな」という、ライブならではの実感が強かったです。音楽が「勉強」になる前に興味を持てたことは幸せでした。

来年度の定期演奏会のポイントをお願いします。

今までさまざまな作品を経験してきた神奈川フィルが、どのように進化したかを見せたいと思います。みなとみらいホールは、バラエティに富んだ本格派がラインナップされています。一方、音楽堂シリーズはハイドンを軸としています。ぜひハイドンの魅力に気づいてもらい、「ハイドンについては神奈川のお客様が一番知っている」というふうにしていきたいです。

12月24日から、定期会員の新規受付が始まります。

新しい会員制度では、お客様がより自由に選べるようになりました。定期会員になると、自分のお気に入りの席で、オーケストラを家族の一員として見守ることができます。ぜひ気軽に会員になってください。

神奈川フィルで実現したいと思っていることをお聞かせください。また指揮者として大切にしていることを教えてください。



特別客演指揮者就任にあたり
小泉和裕

神奈川フィルハーモニー管弦楽団は、師の山田一雄先生が愛され、初代音楽監督就任直後に急逝され大変残念だった事を思い出します。先生の音楽に対する真摯な姿勢、情熱を受け継いで、オーケストラ音楽の神髄・価値を出来得る限り皆様にお伝えし、実感して頂けるように最善を尽くしたいと思います。



首席客演指揮者からのメッセージ
サッシュ・ゲツツエル

私は日本公演をする機会を数多くいただき、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と2007年に初めてご一緒いたしました。そして2009年にモーツアルトとマーラーを演奏するために戻ってまいり、その経験は忘がたいものとなりました。この度、このオーケストラに首席客演指揮者として招いていただいたことに、心から誇りを感じております。一緒に音楽の旅に乗り出すことで、この関係を育て、大成功を収めることを楽しみにしております。

常任指揮者 金聖響からのメッセージ

5年間に亘り神奈川フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者として、多くのお客様へ神奈川フィルの音をお届けできることに心より感謝申し上げます。眞の芸術に触ることは人間を成長させることもあります。オーケストラの演奏を通じ、様々な方々とお会いして自分自身もこの5年間で多くの発見・成長がありました。次期常任指揮者の川瀬賢太郎さんは、常に全力で素晴らしい音楽作りをして、皆様に感動を与えてくれると確信しています。今後とも神奈川フィルへの熱いご声援をよろしくお願いいたします。

川瀬賢太郎プロフィール

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに、広上淳一をはじめ各氏に師事。2006年10月東京国際音楽コンクール<指揮>2位(最高位)入賞。入賞者デビューコンサートで神奈川フィルハーモニー管弦楽団と初共演。2011年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮者。2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団 常任指揮者に就任する。三重県いなべ市親善大使。

2014—2015年度 定期演奏会 「希望の未来へ～新たなる出発と挑戦～」

2014年4月、神奈川フィルハーモニー管弦楽団は新常任指揮者に川瀬賢太郎、特別客演指揮者に小泉和裕を迎えるとともに新しい時代のスタートを切れます。これまで横浜みなとみらいホールで開催してきた定期演奏会は、その会場を神奈川県立音楽堂、神奈川県民ホールへと広げ、音楽の魅力をあますところなくお届けしてまいります。

みなとみらいシリーズ

[会場:横浜みなとみらいホール 大ホール 全10回]

第298回 4.18[金] 開演19:00

川瀬賢太郎 常任指揮者就任披露公演
◎指揮=川瀬賢太郎 ◎ピアノ=伊藤恵

♪シユーマン/ピアノ協奏曲

♪ブラームス/交響曲第1番 ほか

第299回 5.16[金] 開演19:00

●指揮=現田茂夫
●ヴァイオリン=崎谷直人

♪モーツアルト/ヴァイオリン協奏曲 第4番

♪ドボルザク/交響曲第7番 ほか

第300回 6.27[金] 開演19:00

300回記念定期演奏会
●指揮=川瀬賢太郎 ●ソプラノ=秦茂子

●アルト=藤井美雪 ●合唱=神奈川フィル合唱団

♪マーラー/交響曲第2番「復活」

第301回 8.29[金] 開演19:00

小泉和裕 特別客演指揮者就任披露公演

●指揮=小泉和裕

♪グラズノフ/バレエ音楽「四季」

♪チャイコフスキイ/交響曲第6番「悲愴」

第302回 9.20[土] 開演14:00

●指揮=キンボーイシイ

●ピアノ=三船優子

♪ガーシュイン/パリのアメリカ人

♪バーンスタイン/交響曲第2番「不安の時代」ほか

音楽堂シリーズ

[会場:神奈川県立音楽堂 全3回]

第1回 5.24[土] 開演15:00

◎指揮=宮本文昭 ●ファゴット=鈴木一成

♪ハイドン/交響曲第1番

♪モーツアルト/ファゴット協奏曲

♪ビゼー/交響曲 ハ長調 ほか

第2回 7.26[土] 開演15:00

●指揮=鈴木秀美

♪ハイドン/交響曲第88番「V字」

♪ベートーヴェン/交響曲第5番

♪運命 ほか

第3回 2015.2.14[土] 開演15:00

●指揮=川瀬賢太郎 ●ソプラノ=

半田美和子 ●チエロ=門脇大樹

♪ハイドン/チエロ協奏曲第1番/

交響曲第60番「うかつ者」ほか

県民ホールシリーズ

[会場:神奈川県民ホール 全3回]

第1回 12.19[金] 開演19:00

●指揮=小泉和裕

♪ベートーヴェン/交響曲第9番

「合唱付」

第2回 2015.1.15[木] 開演19:00

●指揮=サッシュ・ゲツツエル

●ピアノ=小山実稚恵

♪チャイコフスキイ/ピアノ協奏曲第1番

♪ベートーヴェン/交響曲第3番「英雄」

第3回 2015.3.3[火] 開演19:00

●指揮=川瀬賢太郎

●ヴァイオリン=郷古廉

♪チャイコフスキイ/ヴァイオリン協奏曲

協奏曲 ほか